

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	生活支援技術Ⅲ	担当者名	小笠原 仁美
授業の概要	専門職として本人、家族に信頼される終末期支援について、「死」の概念と多角的な視点を学ぶ。自らの死生観に向き合い、気持ちの共有と共感を理解する。生活支援技術を7つに分けたカリキュラムの中で、専門職として必要な知識・技術を応用的に身につける位置づけである。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期についての知識・技術を習得する。</li> <li>・対象者に合わせた支援ができるようにする。</li> </ul>				
DPの観点	①聴く力20% ③柔軟性10% ④協調性20% ⑤社会性20% ⑥専門知識・技能30%				
授業時間外学修(予習・復習)	・介護福祉士資格取得科目であるので、各自試験対策に取り組むこと(準備学習2時間、復習2時間)				
フィードバックの方法	課題の返却やコミュニケーションカードにてフィードバックする				
単位認定の要件	指定期日までの課題提出を重視する。授業への取組や課題で定められた基準を満たすことが単位認定の要件である。				
評価の方法・割合(%)	課題レポート60%、授業内活動40%				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席は1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			人生の最終段階の意義と介護の役割を理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
2			終末期について理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
3			人生の最終段階における介護について理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
4			日本のしきたりと終末期について理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
5			ホスピス・グリーフケアについて理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
6			人生の最終段階の介護における多職種との連携について理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
7			死をむかえる人、死をむかえた人の介護について理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
8			エンゼルケア・エンゼルメイクについて理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
9			グリーフケアについて理解する①家族の心情について	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
10			グリーフケアについて理解する②その重要性について	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
11			エンディングノートについて理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
12			終末期ケアについて理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
13			キューブラー・ロスについて理解する	①④⑤⑥	コミュニケーションカード
14			看取りについて理解する	①③⑤⑥	コミュニケーションカード
15			デスカンファレンス・ターミナルケアについて理解する	①③⑤⑥	コミュニケーションカード
期末試験					

使用テキスト	最新・介護福祉士養成講座第7巻「生活支援技術Ⅱ」 荘村明彦 中央法規出版 第6章
参考文献 参考URL	介護福祉士国家試験問題
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--